

総務教育常任委員会資料

(令和8年9月15日)

【件名】

- ・ 令和8年度鳥取県庁における障がい者雇用率（速報値）について
(教育総務課) … 2
- ・ 「学校における児童生徒間の性暴力対応マニュアル」の作成について
(生徒支援・教育相談センター) … 3
- ・ 鳥取県立高校・でかける体験入学 ～トットリ・ハイスクール・アドベンチャー2026～について
(高等学校課) … 7
- ・ 令和8年度全国高等学校総合体育大会の結果について
(体育保健課) … 9
- ・ 令和8年度全国中学校体育大会の結果について
(体育保健課) … 11

教 育 委 員 会

令和8年度鳥取県庁における障がい者雇用率（速報値）について

令和8年9月15日
人事企画課
教育総務課
病院局総務課

今年度の本県の障がい者雇用率（6月1日現在・速報値）がまとまりましたので報告します。

1 本県の障がい者雇用率

【令和8年6月1日現在の雇用状況】

任命権者	障がい者雇用率	障がい者数（実数）
知事部局	3.56%	103人
教育委員会	2.89%	135人
病院局	2.91%	31人

※法定雇用率2.8%（教育委員会2.7%）。

なお、令和8年7月に引き上げられ、令和9年6月現在の雇用率から適用される。
（引き上げ後の法定雇用率3.0%（教育委員会2.9%））

※知事部局には企業局を含む。

※本数値は速報値で、厚生労働省が12月頃に確定させ、翌年公表する。

＜参考：障がい者雇用率の推移＞

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (速報値)	…	R11年度 計画目標値
知事部局	3.29%	3.32%	3.42%	3.48%	3.51%	3.52%	3.56%		3.70%
教育委員会	2.42%	2.58%	2.74%	2.77%	2.84%	2.71%	2.89%		2.90%
病院局	2.73%	2.63%	2.77%	2.73%	2.90%	2.83%	2.91%		3.00%

2 本県における障がい者雇用推進に向けた取組

令和2年度に鳥取県障がい者活躍推進計画を策定し、この計画に基づき、障がいのある職員の職場定着のための「相談窓口の設置」や、障害者就業・生活支援センターなどの専門機関との課題認識の共有や連携のための「障がい者雇用推進チーム会議の開催」などに取り組んでいる。

＜これまでの県の障がい者雇用促進のための取組＞

開始時期	内容
平成6年度～	身体障がい者を対象とした正規職員採用試験を開始
平成20年度～	知的障がい者を対象とした非常勤職員採用試験を開始し、障がい者ワークセンターを設置
平成25年度～	非常勤職員採用試験において身体障がい者対象枠を新設
平成26年度～	ワークセンターの採用者に精神障がい者を対象に追加
平成28年度～	知的障がい者、精神障がい者を対象とした正規職員の採用試験を実施
令和2年度～	≪鳥取県障がい者活躍推進計画を策定（R2.4）≫ ・障がい者雇用推進チーム会議の開催 ・障がいのある職員相談窓口の設置
令和5年度～	知的障がい者を対象とした正規職員の採用試験について、特別支援学校高等部（知的障がい）卒業生（見込み含む）であれば手帳の有無に関わらず受験できるよう、試験内容を見直し
令和6年度～	・本庁舎ワークセンターを拡充（9名に増員） ・水産試験場にワークセンターを設置（1名雇用）
令和7年度～	・八頭庁舎、衛生環境研究所、農業試験場にワークセンターを設置（各1名雇用） ・令和8年4月採用予定の採用試験において、 ①鳥取方式短時間勤務の区分を新設（身体、精神、知的） ②土木技師の区分を新設（身体、精神） ・教育委員会事務局ワークセンターを新設（東部4名、中部2名雇用）
令和8年度～	・農業試験場のワークセンターを拡充（定数3名に増員） ・教育委員会事務局ワークセンターを新設、増員（新設：本庁2名、増員：東部、中部各1名増員）

「学校における児童生徒間の性暴力対応マニュアル」の作成について

令和8年9月15日
生徒支援・教育相談センター

令和8年9月に「学校における児童生徒間の性暴力対応マニュアル」を作成しましたので、概要について報告します。

1 作成に至る経緯

- ・全国的に性犯罪の認知件数は増加の傾向にあり、令和5年7月の改正刑法施行により処罰要件が明確化され、被害がより顕在化しやすくなった。
- ・令和4年内閣府男女共同参画局実施の16歳から24歳の若者を対象とした調査では、性被害を受けた場所は「学校」が最多で22.5%だった。
- ・校内で性暴力が発生した場合の対応方法等について、性の取扱いの難しさから学校現場が対応に苦慮していることが考えられ、その指針を明らかにすることが必要である。

2 作成の目的

- ・性暴力に関する学校の基本的な姿勢や、学校において児童生徒間の性暴力が疑われる事案が発生した場合、またはその兆候に気づいた場合に、教職員が適切かつ組織的に対応するための基本的な考え方と具体的な対応方法を示す。
- ・未然防止、早期発見の考え方を示す。

3 マニュアルのポイント及び具体的な内容

別添『「学校における児童生徒間の性暴力対応マニュアル」の概要』を参照

4 作成にあたり意見を伺った関係機関等

- (1) 民間
 - ・(公益社団法人)性暴力被害者支援協議会(クローバーとっとり)
- (2) 行政
 - ・県生活環境部犯罪被害者総合サポートセンター
 - ・県子ども家庭部家庭支援課児童養護・DV室
- (3) 教育機関、教育関係者
 - ・都市・町村教育長会
 - ・各校種学校長会
 - ・野田正人氏
(国立教育政策研究所フェロー、生徒支援・教育相談センター学校支援チームSV)

5 今後のスケジュール

9月～10月中 市町村教育委員会、県立学校、関係機関への通知及び研修動画配信

6 添付資料(対応マニュアルより)

- (1)「学校における児童生徒間の性暴力対応マニュアル」の概要
- (2)学校で性暴力被害が起こった場合のフロー図
- (3)学校で性暴力被害が起こった場合の主な対応のポイント

「学校における児童生徒間の性暴力対応マニュアル」の概要

作成に至る経緯

- 全国的に性犯罪の認知件数は増加の傾向にあり、2023年7月の改正刑法施行により処罰要件が明確化され、被害がより顕在化しやすくなった実態があります。
- 2022年内閣府男女共同参画局実施の16歳から24歳の若者を対象とした調査では、被害を受けた場所は「学校」が最多で22.5%という結果でした。
- 校内で性暴力が発生した場合の対応方法等について、性の取扱いの難しさから学校現場が対応に苦慮していることが考えられ、その指針を明らかにすることが必要です。

作成の目的

- 性暴力に関する学校の基本的な姿勢や、学校において児童生徒間の性暴力が疑われる事案が発生した場合、またはその兆候に気付いた場合に、教職員が適切かつ組織的に対応するための基本的な考え方と具体的な対応方法を示す。
- 未然防止、早期発見の考え方を示す。

学校で性暴力が起こった場合のフロー図、対応の主なポイント

- ・発見→情報確認→対応は外部のサポートも得て、チームで対応する。
- ・状況により、いじめの定義に基づき学校いじめ対策組織での対応を行う。
- ・緊急度を確認した上で、被害者の心身の安全を最優先とした対応、支援を行う。
- ・「疑い」の段階や判断が難しい場合でも、警察や児童相談所に相談する。
- ・学校は所管の教育委員会に報告し、教育委員会と連携しながら関係機関に相談する。
- ・児童生徒や保護者の間で「うわさ」が広がらないように配慮する。

被害児童生徒への対応、対応支援と留意点、心のケア

- ・トラウマ反応を理解するとともに、二次被害を防ぐために被害者にとって学校や家庭が安心、安全な場所となるよう努める。
- ・聴き取りは最小限にとどめ、本人から話さないことについてはあれこれ質問しない。他の人がもう一度話を聴くことは絶対に避ける。
- ・性暴力被害対応チームを立ち上げ対応するとともに、積極的ないじめの認知も行う。
- ・初期対応の注意点や被害児童生徒への配慮、長期的な支援等について、教育委員会や警察、児童相談所等の関係機関と緊密に連携して対応する。
- ・被害児童生徒の心のケア、被害児童生徒への丁寧な対応に努める。

加害児童生徒への対応

- ・背景に虐待や衝動性のコントロールの弱さなどがあることも多い。保護者の協力のもと、関係機関と連携して、再発防止に努める。
- ・性暴力が悪質な場合や、指導しても繰り返される場合は、児童相談所、警察、少年サポートセンター、医療機関などにつなげて、一緒に対応を考える。

被害・加害当事者以外の児童生徒への対応

- ・被害を目撃した児童生徒に対しては、話を広めないように伝える。
- ・目撃した児童生徒以外には被害の情報は伝えないよう児童生徒に指導する。
- ・被害児童生徒と同じような傷つき体験をしている場合があるため、必要に応じて精神的なケアを行う。

教職員の支援と心のケア

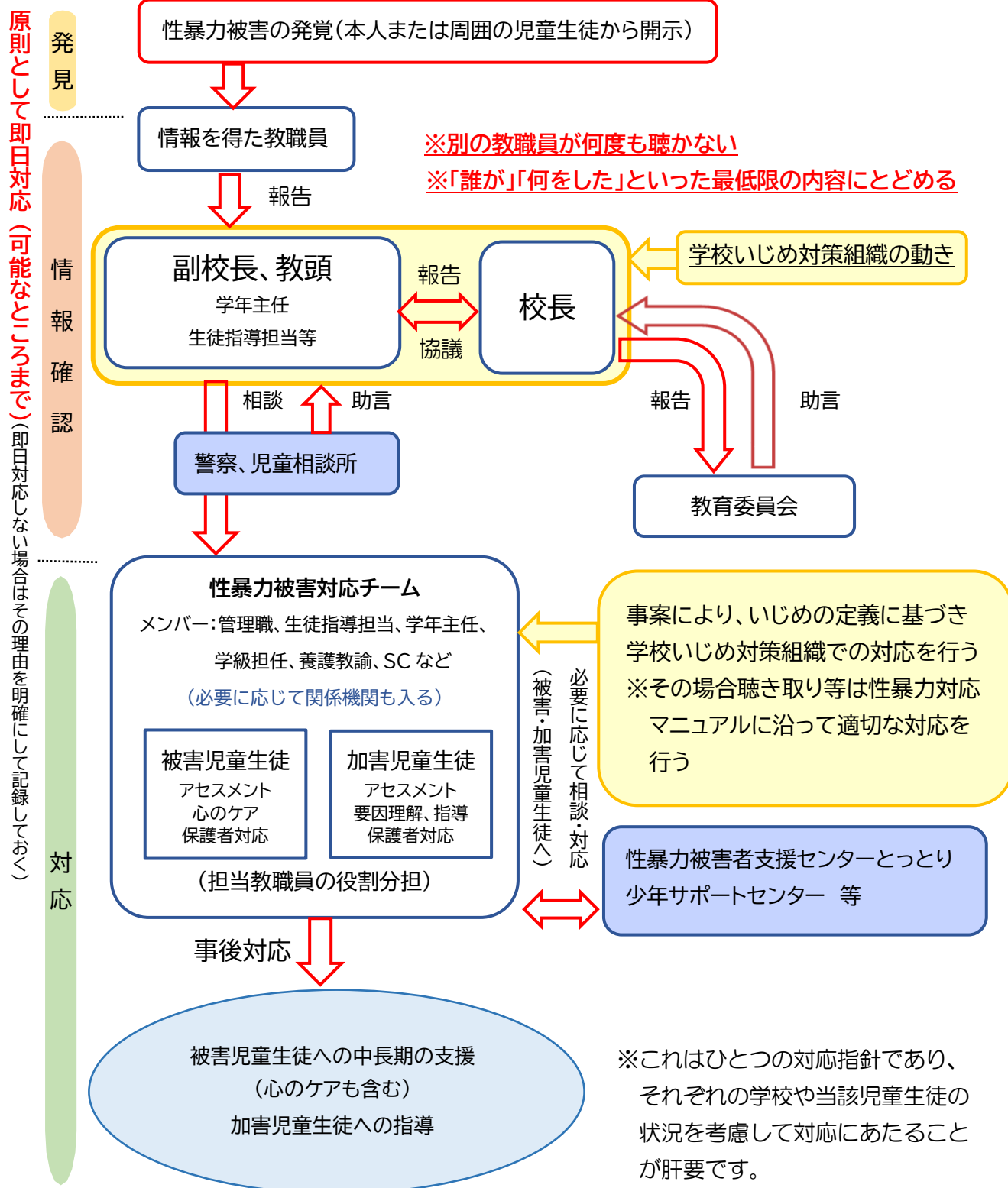
- ・教職員がトラウマを抱える児童生徒を支援する場合に二次的外傷ストレスを受ける可能性があるため、事前に、対応チームの編成時に役割を明確にすること、特定の教職員に役割が集中しないようにすることなどの体制を整えておく。
- ・心身の不調が生じた場合は、教職員向けの「心の健康相談窓口」などの利用も検討する。

未然防止、早期発見と支援体制の構築

- ・学校内で性暴力被害が起きないためには、日ごろの性に関する指導とコミュニケーションスキルの教育が必要となる。
- ・計画的に性に関する指導の時間を設定し、未然防止のための情報を発信していく。
- ・早期発見のためのツールなど日ごろから情報を入手するための工夫や、子どもの発するサインを見逃さないこと、保護者との連携等が重要である。

学校で性暴力被害が起こった場合のフロー図

- ◆事前に教職員の情報共有の範囲および情報を得た場合の経路を確認しておく
- ◆性暴力は(疑い段階でも)重大な事案として対応する
- ◆事案により学校いじめ対策組織を活用し、対応にあたる
- ◆外部のサポートも得てチームで対応する、疑いの段階でも相談をかける



学校で性暴力被害が起こった場合の対応の主なポイント

【学校の基本的姿勢】

- 緊急度を確認した上で、被害者の心身の安全を最優先とした対応、支援を行う。
- 事実を把握した場合は(疑いの場合も含む)、学校は所管の教育委員会に報告し、教育委員会と連携しながら警察、児童相談所等に相談する。(性暴力かどうか判断が難しい場合でも、警察や児童相談所に対応方法を相談する。)
- 児童生徒や保護者の間で「うわさ」が広がらないように配慮する。

【被害児童生徒への対応】

- トラウマ反応を理解するとともに、二次被害を防ぐために被害者にとって学校や家庭が安全・安心な場所となるように努める。
- 最初の聴き取りは「誰が」「何をした」といった最低限の内容にとどめ、本人から話さないことについて、あれこれ質問しない。質問のしすぎや、「よく話してくれたね」などと開示をほめすぎると、本人が話をつくってしまうなど、事実誤認につながることもある。また、他の人がもう一度話を聴くことは絶対に避ける。
- 本人、保護者と定期的に連絡を取り、長期的に見守っていく体制をつくる。
- 初期対応の注意点や被害児童生徒への配慮等について、教育委員会や警察、児童相談所等から助言を受けることが、学校における適切な対応につながる。

【加害児童生徒への対応】

- 加害児童生徒への聴き取り、対応については、警察、児童相談所へ相談後方針決定し実施する。
- 背景に虐待や衝動性のコントロールの弱さなどがあることも多い。保護者の協力のもと、関係機関と連携して、再発防止に努める。
→性暴力が悪質な場合や、指導しても繰り返されている場合は、児童相談所、警察、少年サポートセンター、医療機関などにつなげて、一緒に対応を考えることが重要。

【周囲の児童生徒への対応】

- 本人以外の児童生徒から相談されたら、いつどのような形で知ったかのみを聴き取り、詳しい聴き取りは、警察、児童相談所等に相談してから行う。
- 被害を目撃した児童生徒に対しては、目撃した児童生徒以外には被害の情報は広めないよう伝えるとともに、被害児童生徒と同じような傷つきを体験している場合があるため、必要に応じて精神的なケアを行う。

【鳥取県警察が関わる性犯罪被害者支援について】

- ①発生まもなく、被害者の生命・身体に危険が生じている、生じるおそれがある場合
☎110番通報

- ②性犯罪110番(性犯罪被害相談電話警察本部内)
☎ #8103

【支援内容】平日の日中、警察本部捜査第一課性犯罪捜査指導係の専門員が被害者の要望・意向を聴取して、管轄警察署に引き継ぐ相談窓口

- ③性暴力被害者支援センターとっとり(クローバーとっとり)

☎相談専門ダイヤル 0120-946-328

【支援内容】電話・面接相談 付き添い支援 関係機関との連携



令和8年9月15日
高等学校課

○県立高等学校の魅力を地域に発信するため、8月1日～8日に各地区の大型商業施設において「でかける体験入学」を開催しましたので、概要について報告します。

1 イベントの内容

複数の県立高等学校が、大型商業施設で学校紹介ブースを設け、県内の中・義務教育学校の生徒、保護者及び教職員をはじめ広く県民に向けて、各県立高等学校の特色ある学びなどを紹介する企画として本イベントを実施した。（令和6年度から今年度で3回目の開催、中部は初開催）

2 会場、日時、参加高等学校および来場者数等

区分	東部			中部			西部		
日時	R8.8.2（日）11:00～15:00			R8.8.8（土）11:00～15:00			R8.8.1（土）11:00～15:00		
会場	イオンモール鳥取北			パープルタウン			イオンモール日吉津		
参加校	鳥取東 鳥取工業 岩美 倉吉農業	鳥取西 鳥取湖陵 八頭	鳥取商業 青谷 智頭農林	青谷 倉吉農業 境港総合技術	倉吉東 倉吉総合産業	倉吉西 鳥取中央英	倉吉東 米子 境	米子東 米子南 境港総合技術	米子西 米子工業 日野
来場者	約 560 人			約 280 人			約 420 人		
ブース 来訪者	（延べ）824 人 （各校平均）約 82 人			（延べ）683 人 （各校平均）約 97 人			（延べ）357 人 （各校平均）約 40 人		

3 イベントの詳細

【ステージによる発表等】

- ・「オープニングアクト」：高校生がパフォーマンスで開催をアピール
- ・高校生による学校PR①「学校PRステージ」：各校の生徒がステージ上で自校のPR
- ・高校生による学校PR②「最強ランキング」：各校の最強ポイント3つをランキング形式で発表
- ・ガチャ座談会：ガチャガチャで出たお題について座談会を実施

【ブースによる学校紹介】

- ・「高校紹介ブース」：来場者に対し、各校の説明・紹介、質疑・応答のほか、資料配布、動画上映を実施。
- ・抽選会：来場者が各校ブースに設置したスタンプを集め、抽選会に参加

4 来場者、参加生徒の声

<中学生>

- ・一度に色々な高校の情報を知ることができてよかった。
- ・遠くて実際には行けない学校のことも知ることができて良かった。
- ・高校生に丁寧に説明してもらい将来の参考になった。
- ・先輩たちの体験談をブースごとに聞けると嬉しい。
- ・自分の姉が中学生の頃は東部・西部のみで開催しており参加できなかったが、今年は中部でも開催されたので参加することができた。

<保護者>

- ・高校生が質問した内容についてすらすらと答えてくださり、自分の学校のことをよく分かっているなと思った。
- ・わが子もこの体験を通して将来に向かってのヒントを掴んでもらえたらうれしい。
- ・他県から引っ越してきてこちらの学校の情報を知りたかったので良かった。
- ・学校の推しがPRされていてわかりやすかった。
- ・地元の倉吉で開催してもらえたので参加しやすかった。

<参加した高校生>

- ・普段の授業ではものを作って地域の人に見てもらって終わりだったのが、今日は子どもに実際に遊んでもらえたのでやりがいがあった。
- ・普段は意識していなかったが、今回のイベントの準備をする中で、自分の学校の良いところを発見できた。

5 当日の様子

東部地区



会場：イオンモール鳥取北



オープニングアクト
(鳥取西高校：
管弦楽の演奏)



学校PRステージ
(岩美高校)

中部地区



会場：パープルタウン



学校紹介ブース
(倉吉総合産業高校)



最強ランキング
ベスト3

各校の最強ポイントを
ランキング形式で
発表

西部地区



会場：イオンモール日吉津



ガチャ座談会

ガチャガチャで出た
お題をテーマに
座談会を開催



参加生徒による集合写真

令和8年度全国高等学校総合体育大会の結果について

令和8年9月15日
体 育 保 健 課

令和8年度全国高等学校総合体育大会に参加した本県選手団の成績について報告します。

- 1 開催期間 令和8年7月22日（水）から8月21日（金）まで
- 2 開催地 ・全日制大会 近畿ブロック、北海道、福島県、和歌山県
・定通制大会 東京都、神奈川県
- 3 選手団 31競技：総合計666名
(選手：517名、監督・引率：146名、本部役員：3名)

4 入賞者（8位以内）一覧【網掛は3位以内】

競技名	種目	順位	名前	高等学校名
ローイング	男子シングルスカル	1位	やぎたに こうそう 八木谷公奏（2年）	鳥取城北
相撲	個人無差別級	1位	チョローンバートル サンチルガリデ （3年）	鳥取城北
自転車競技 トラックレース	女子ポイントレース	1位	おおたに なな 大谷奈々（3年）	鳥取西
	女子3km インデヴィデュアル・パージェット	2位		
ヨット	男子420級	1位	やすだ はるた 安田悠汰（3年） やまもと しおん 山本汐穂（2年）	境
	女子420級	2位	いぐち りさ 井口梨沙（2年） むらなか りこ 村中莉子（1年）	境
相撲	個人80kg級	3位	ながしまきょうや 永島京弥（2年）	鳥取城北
自転車競技 トラックレース	男子スプリント	3位	すどうとらのすけ 須藤虎之輔（3年）	倉吉総合産業
ホッケー	男子団体	3位		八頭
ボクシング	ライト級	3位	さくの けんしん 作野剣信（2年）	米子
ヨット	男子コンバインド	3位		境

競技名	種目	順位	名前	高等学校名
ウェイトリフティング	男子79kg級 スナッチ	4位	はせがわあつき 長谷川純希（3年）	米子工業
	男子79kg級 トータル	5位		
水泳	女子高飛込	5位	あかぎはるね 赤木陽音（2年）	米子北
相撲	個人無差別級	5位	とみやまはると 富山大翔（3年）	鳥取城北
	個人100kg級	5位	たいらいっこう 平一恋（1年）	鳥取城北
	男子団体	5位		鳥取城北
自転車競技 ロードレース	女子個人ロードレース	5位	おおたになな 大谷奈々（3年）	鳥取西
ボクシング	ライトウェルター級	5位	いだたくま 伊田逞真（1年）	米子西
ヨット	女子コンバインド	5位		境
定通制バドミントン	女子シングルス	5位	とくだうい 徳田海癒（1年）	クラーク記念 国際鳥取
定通制バドミントン	女子団体	5位		鳥取県選抜
ウェイトリフティング	男子88kg級 クリーン&ジャーク	7位	かりたやまと 荻田大和（3年）	米子工業
	男子88kg級 トータル	8位		

令和 8 年度全国中学校体育大会の結果について

令和 8 年 9 月 1 5 日
体 育 保 健 課

令和 8 年度全国中学校体育大会に参加した本県選手団の成績について報告します。

- 1 開催期間 令和 8 年 8 月 1 7 日（月）から 8 月 2 4 日（月）まで
※駅伝・スキー等は別日程で冬に開催
- 2 開催地 中国ブロック
- 3 選手団 出場競技：8 競技
団 体：1 1 チーム（男子：6 チーム、女子 5 チーム）
総人数：1 0 6 名（男子：5 9 名、女子：4 7 名）

4 結果概要

- (1) 鳥取市立西中学校が、相撲団体で優勝
昨年度に引き続き 2 連覇
- (2) テムージン チルゲン選手（鳥取西中 3 年）が、相撲個人で優勝
2 年連続での中学生横綱は 4 6 年ぶり
- (3) 竹部 颯華選手（三朝中 3 年）が、女子走幅跳で優勝
陸上女子の優勝は県勢 2 2 年ぶり

5 入賞者一覧【網掛は 3 位以内】

※団体 1 種目 1 団体及び個人 6 種目 5 名の入賞がありました。

競技名	種 目 名	氏 名	所 属	順位
相撲	団体	テムージン チルゲン ほりもとや 隼 元哉 あべ そうたろう 阿部 聡太郎 きしだ こうのすけ 岸田 幸之輔 ガントウクス ガリデ	鳥取市立西中学校	優勝
	個人	テムージン チルゲン		優勝
陸上	女子走幅跳	たけべ そよは 竹部 颯華	三朝町立三朝中学校	優勝
陸上	男子走幅跳	ちかいけ けいじ 近池 慶士	琴浦町立東伯中学校	2 位
水泳 (飛込)	女子 3 m 飛板飛込	のさか りつき 野坂 律季	米子市立箕蚊屋中学校	4 位
	女子高飛込			4 位
柔道	女子個人 5 2 k g 級	おおた まほ 太田 真歩	米子柔道クラブ	8 位